

都賀地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年9月16日（月）午後2時15分～2時45分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事例数： 1 ケース

参加者数： 11 名

事例提供者 1 名、サービス提供事業者 1 名、助言者 6 名、
包括職員 2 名、傍聴者 1 名

事故の後遺症と向き合いながら、家族のお弁当作りを励みにしている69歳の女性

〈目標〉 1日:体調を崩さず元気でいたい

1年:旅行に行きたい

利用サービス:通所型サービス

《生活全般の解決すべき課題》

- ・リハビリを行い左半身の麻痺と痺れを改善し、日常生活の支障を減らしていく。
- ・薬の飲み忘れを防ぎ、健康を維持できるようにしていく。
- ・他者と交流することで、スムーズに会話ができるようになる。
- ・言語聴覚士によるリハビリを行うことで、言語障害の改善を図っていく。

《助言者からの助言内容》

- ・唾液の減少は唾液腺外傷による可能性が高いため、唾液腺マッサージが効果的である。
- ・食べこぼしは口輪筋が弱くなることで起こるため、口腔体操をすると良い。
- ・薬の一包化やお薬カレンダーの活用は、飲み忘れに効果的である。
- ・言語障害は、発症後3年以上経過しても改善するので、STのリハビリを勧める。
- ・生きがいの弁当作りは継続し、自分と家族のメニューを別にする事でカロリー制限が可能である。
- ・外出や他者との交流を図るため、地域のサロン等への参加を勧める。



・麻痺や言語障害のリハビリを行い、他者と交流が図れる機会を作っていく。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・本人に合った社会資源の情報収集できる場やツールが地域に不足している。